

公海を含む本年のサンマの漁況経過と 今後の来遊予測

一般社団法人漁業情報サービスセンター 渡邊一功



(令和元年9月2日)

～本日の内容～

1. 今年のサンマ棒受網漁船の
公海における漁況経過
2. 流網の漁況経過＋直近の漁況



今年のこれまでの
サンマの漁況経過まとめ

3. 一昨年・昨年の漁況を振り返って



今年の**漁期の推移の予想**を説明

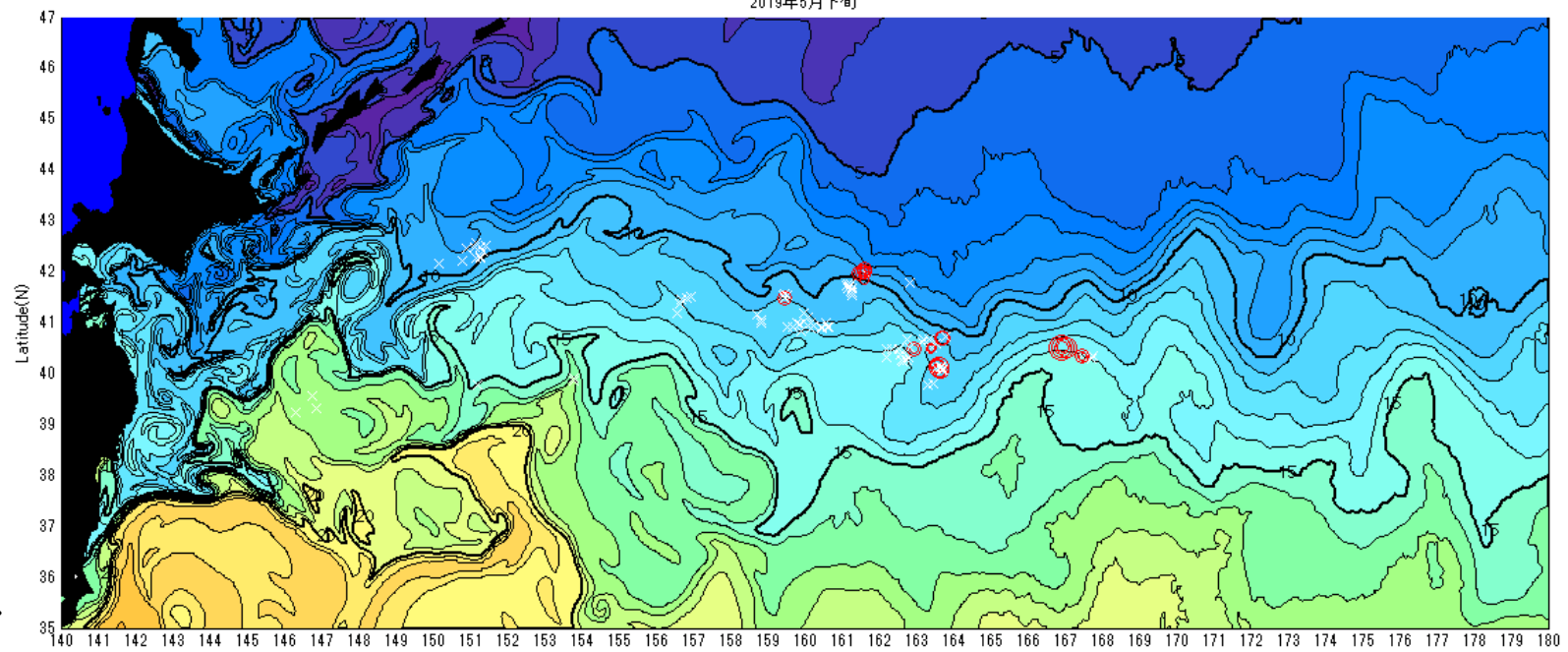
1. 今年のサンマ棒受網漁船の 公海での漁況経過

- ・5月からサンマ棒受網漁船の公海での操業が開始
(計9隻+2隻)
- ・本年5月～7月の総漁獲量は5,003トン、
総漁獲金額は3億5,210万円となり、
漁獲量は昨年の57%、漁獲金額は昨年の51%
(8月1日全さんま発表)

ここでは、

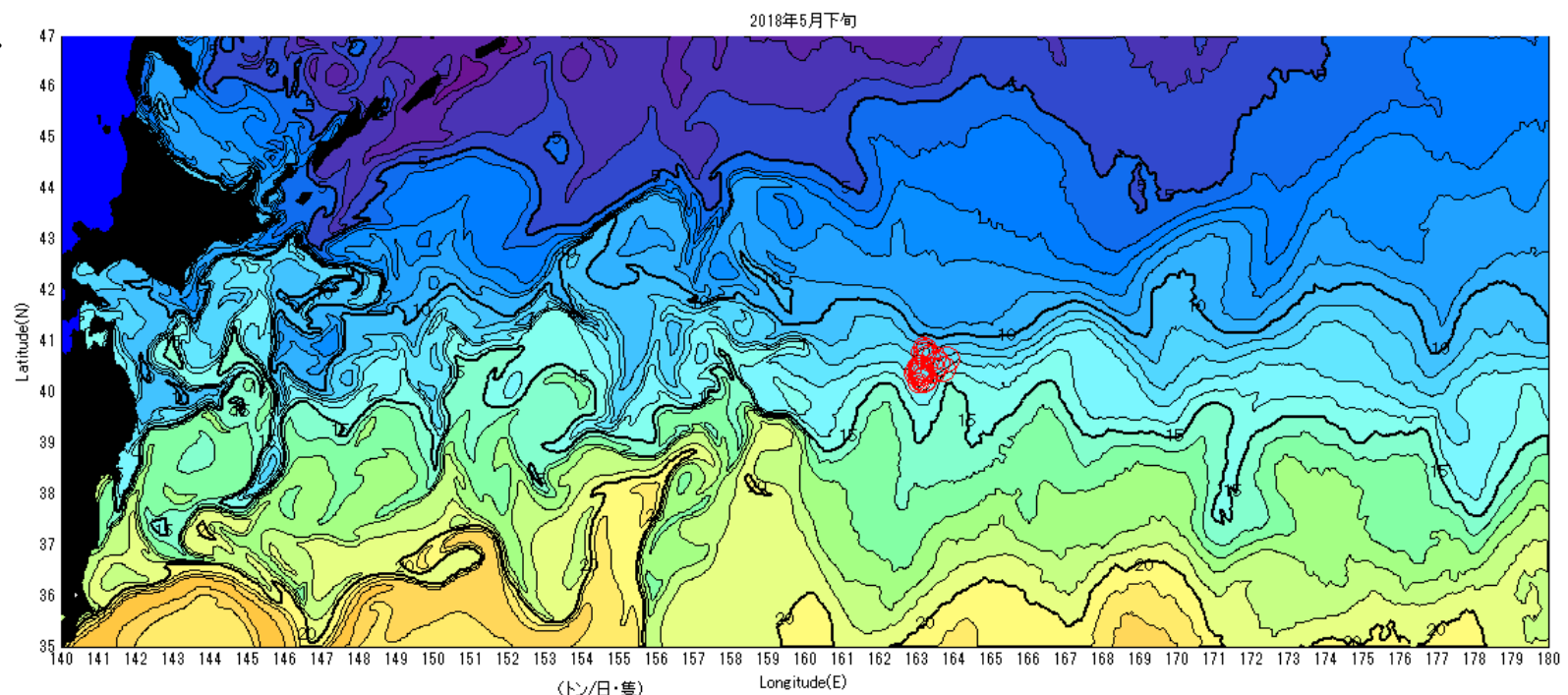
5月下旬から旬別に**漁場位置と表面水温**分布を示す

5月下旬

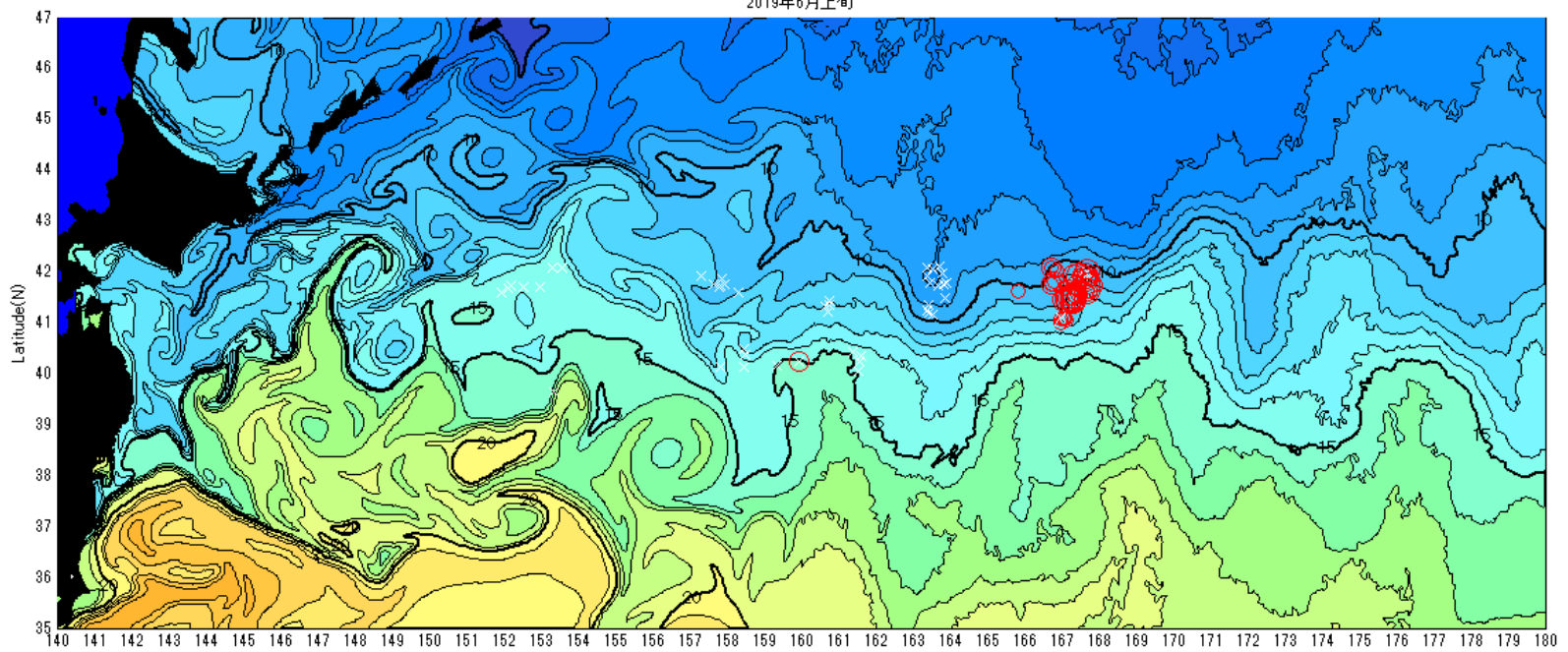


2019年→

2018年→

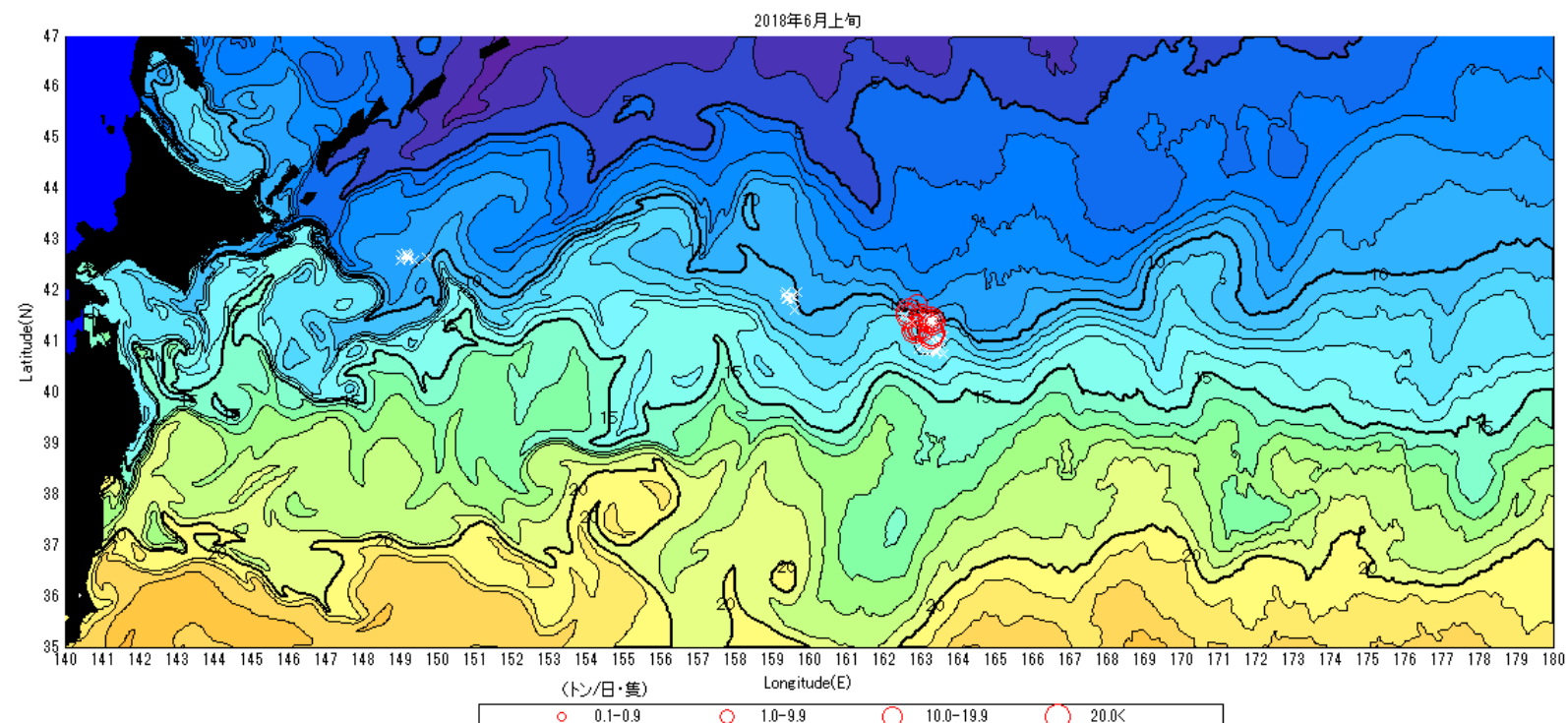


6月上旬



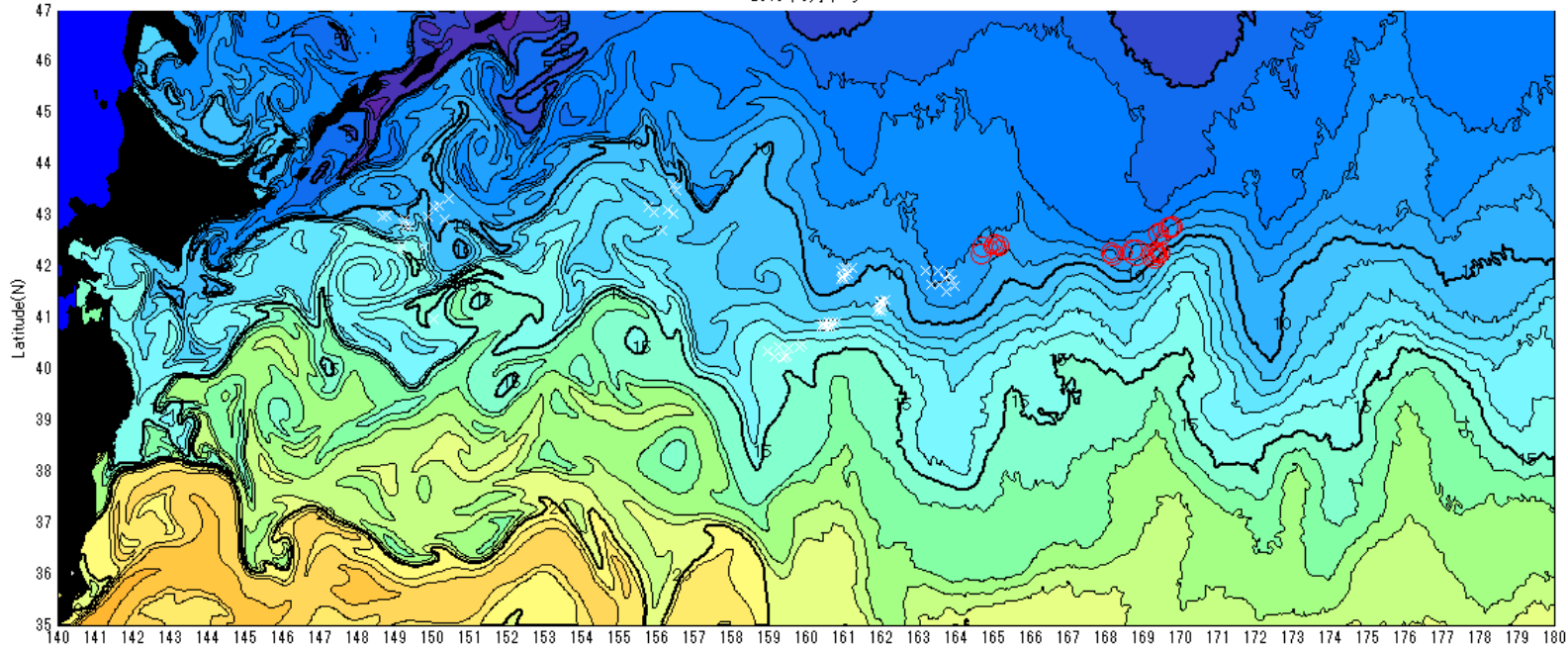
2019年→

2018年→



2019年6月中旬

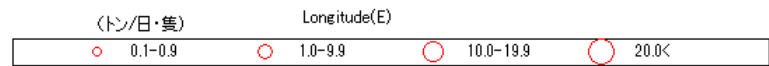
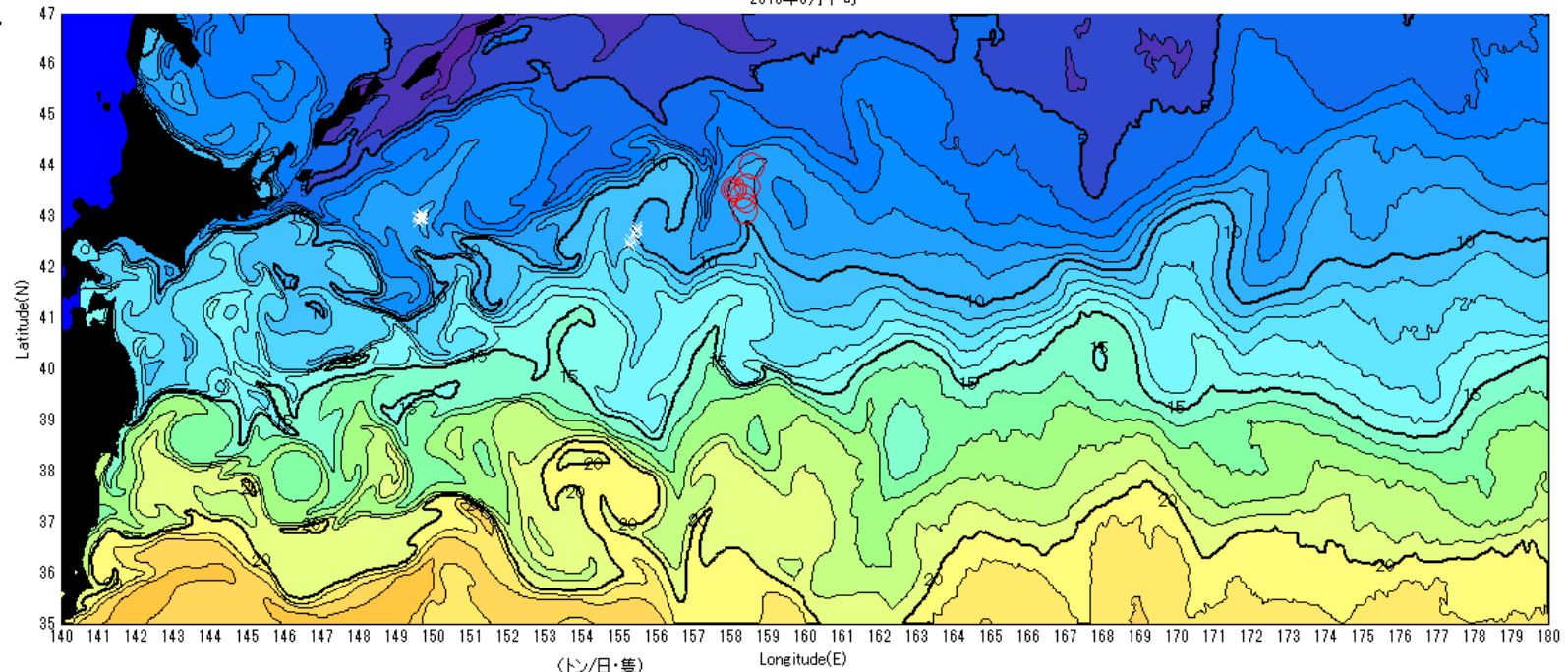
6月中旬



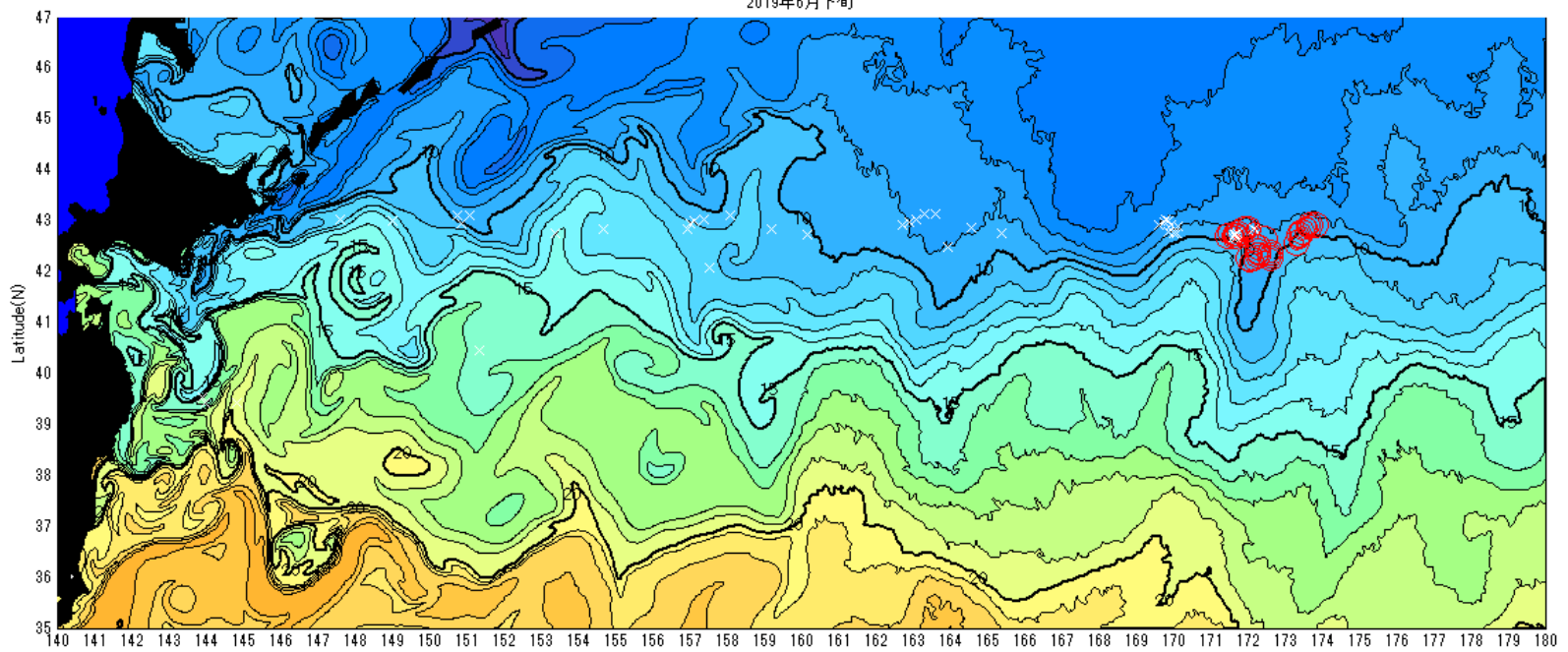
2019年→

2018年→

2018年6月中旬

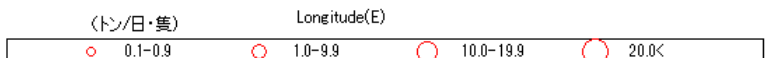
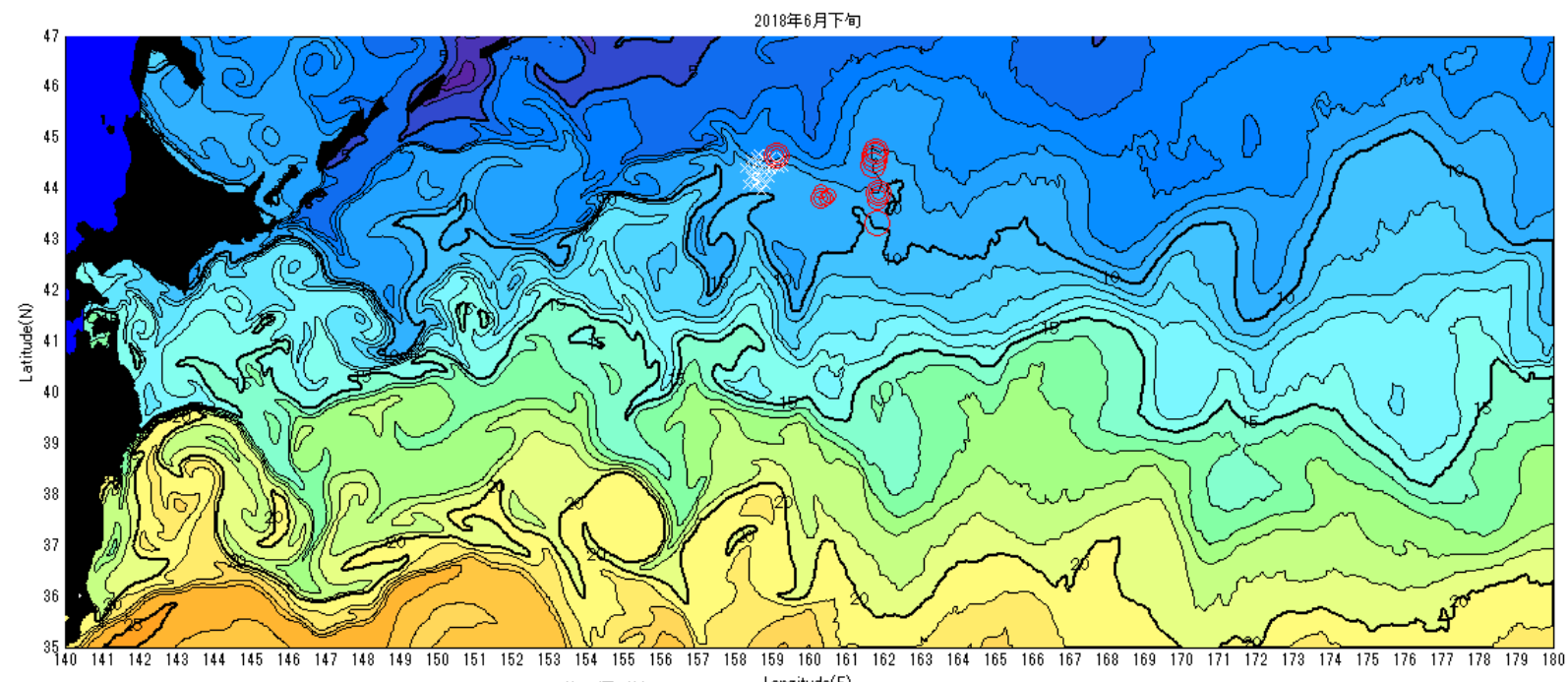


6月下旬



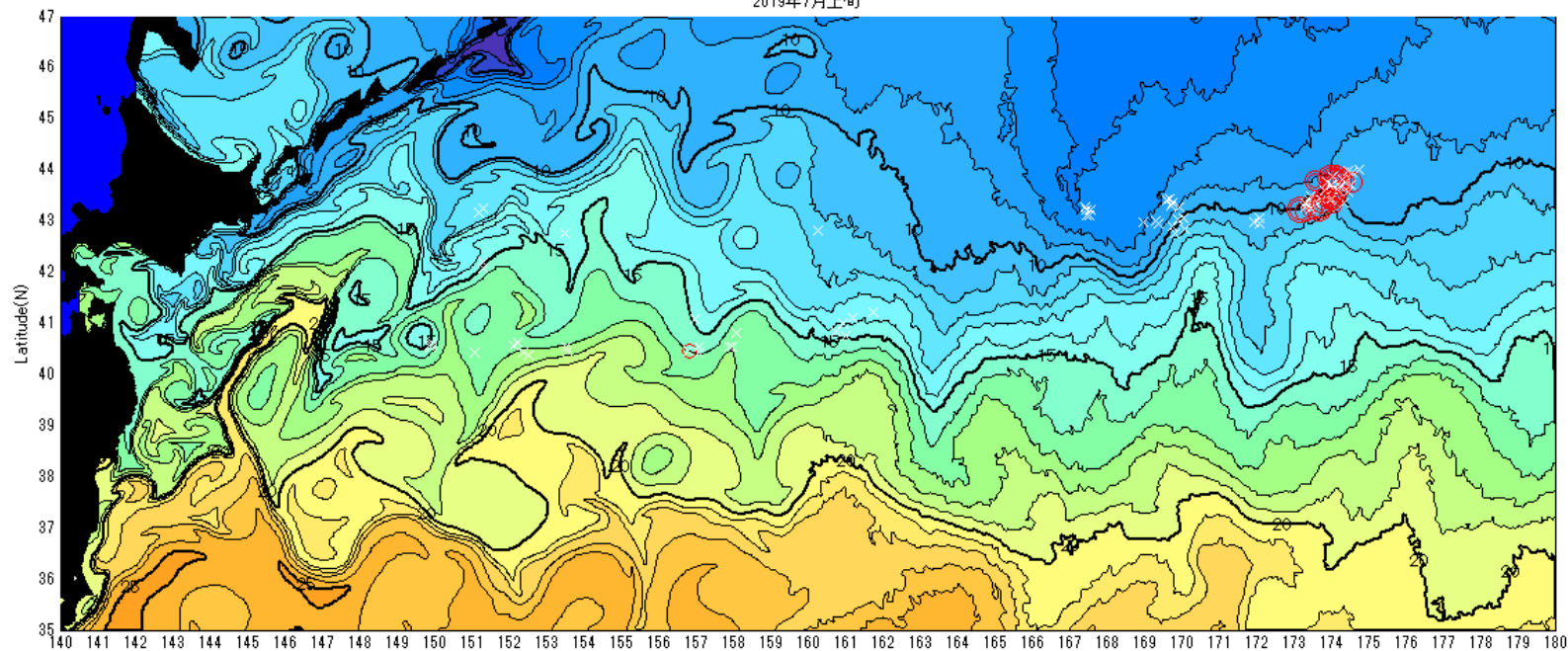
2019年→

2018年→



2019年7月上旬

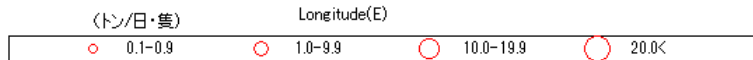
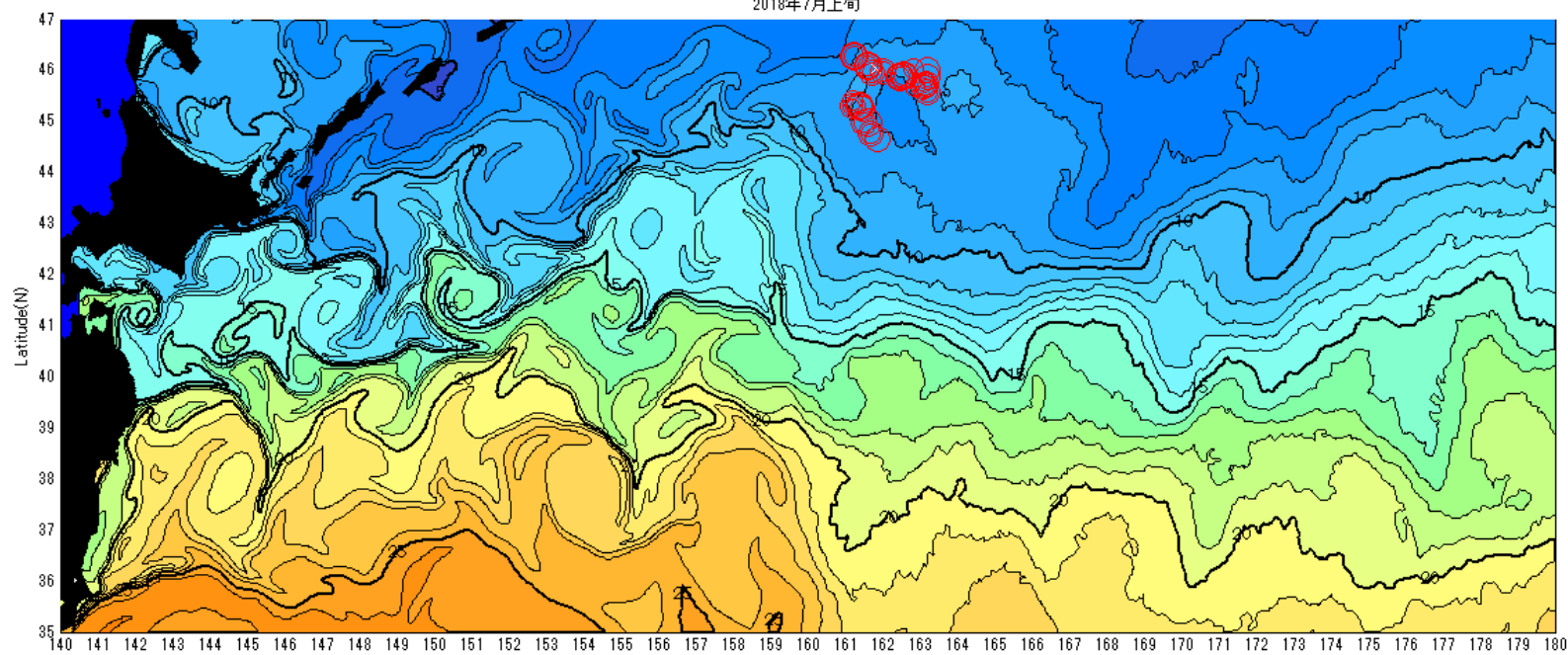
7月上旬



2019年→

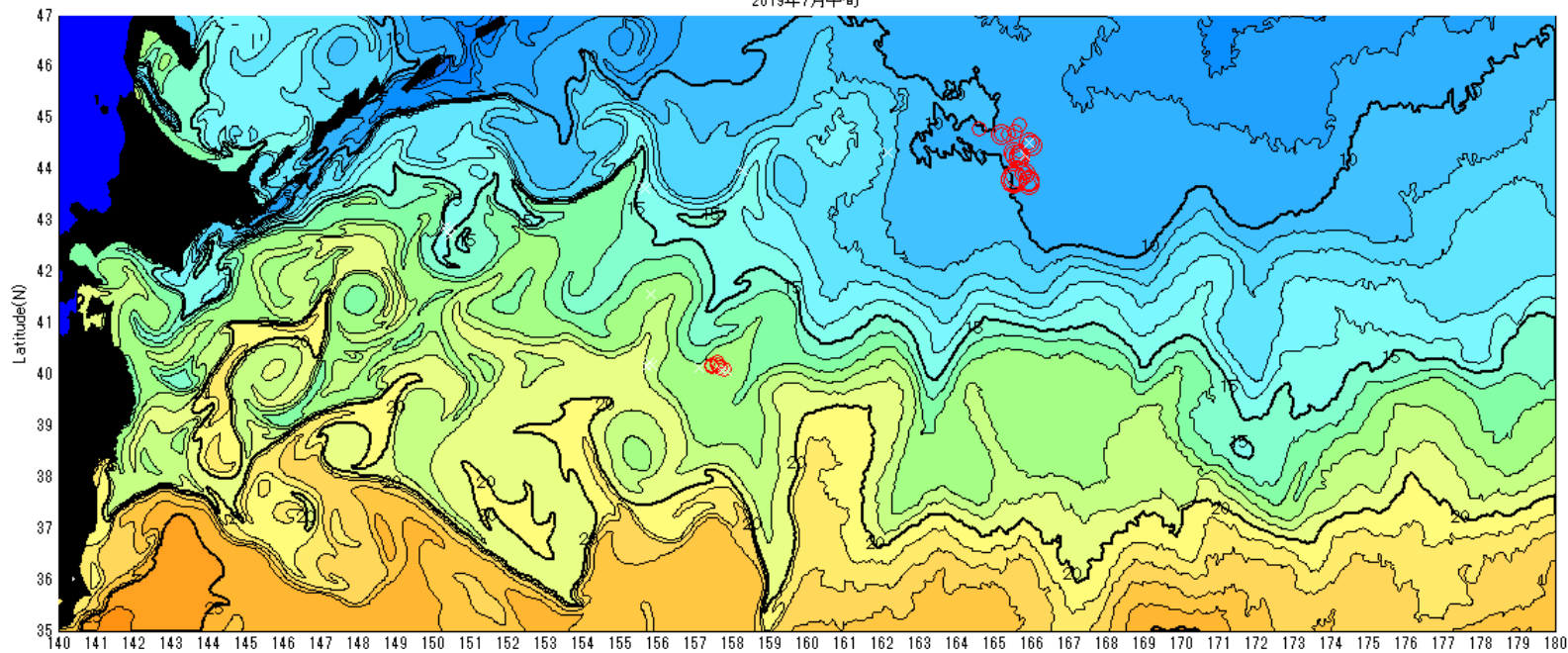
2018年→

2018年7月上旬



2019年7月中旬

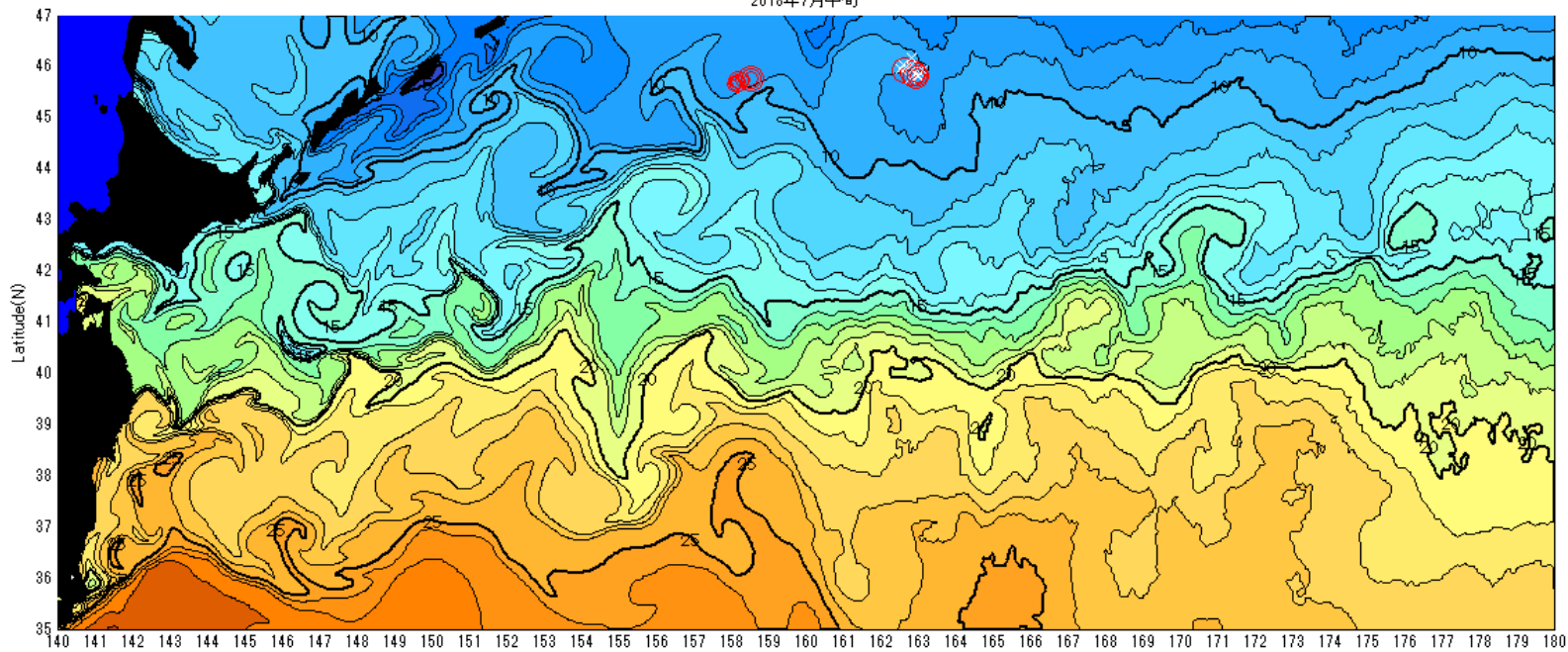
7月中旬



2019年→

2018年→

2018年7月中旬



(°C)

Longitude(E)

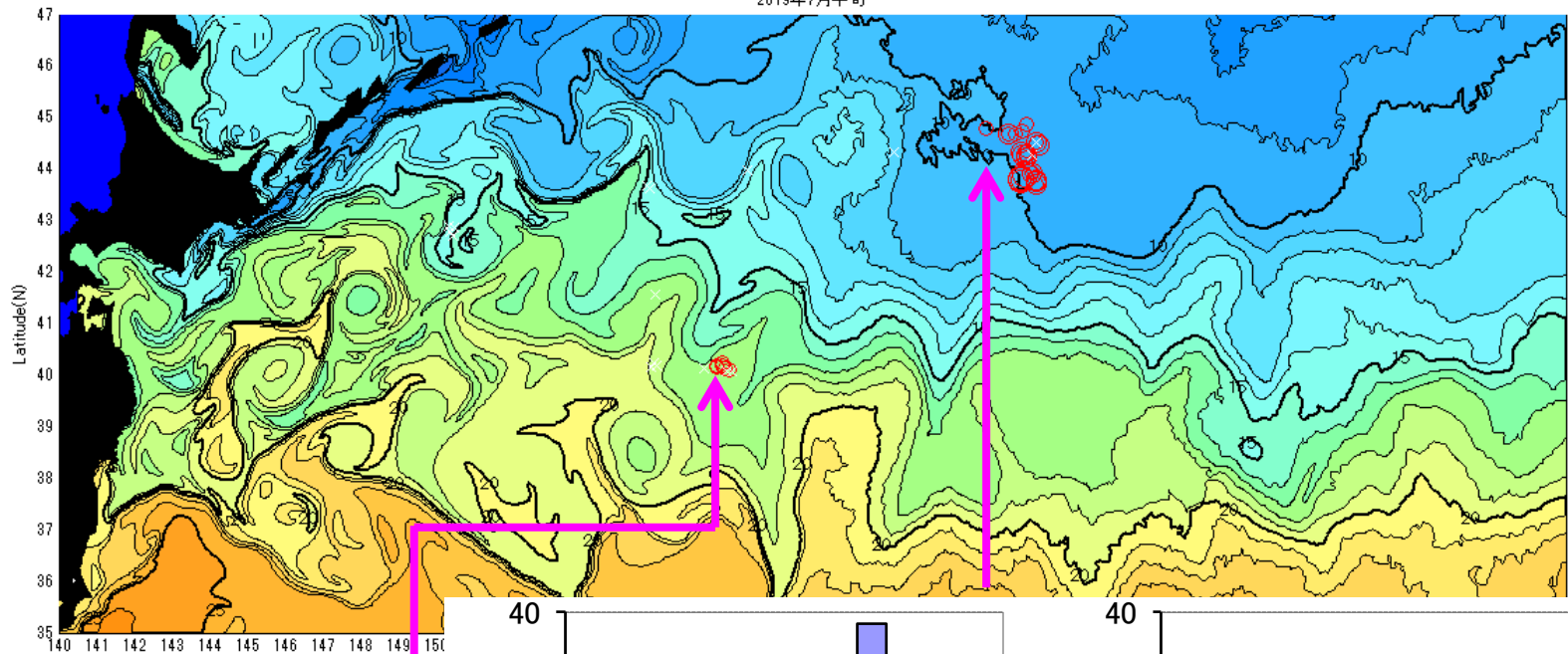
○ 0.1-0.9

○ 1.0-9.9

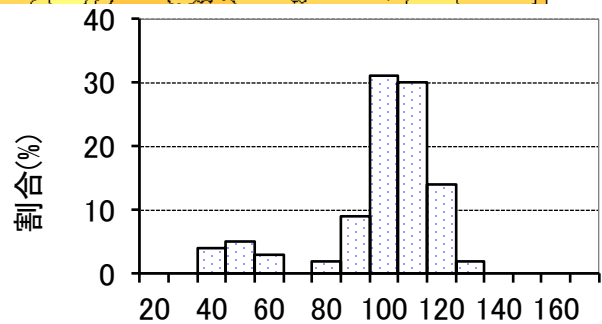
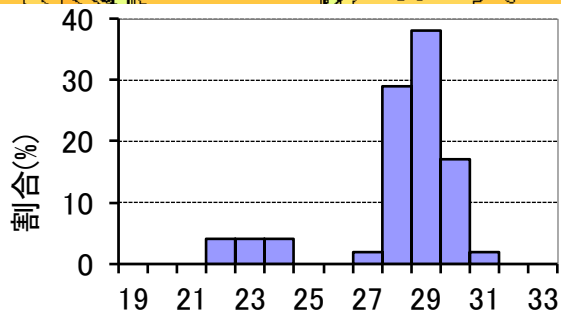
○ 10.0-19.9

○ 20.0<

7月中旬



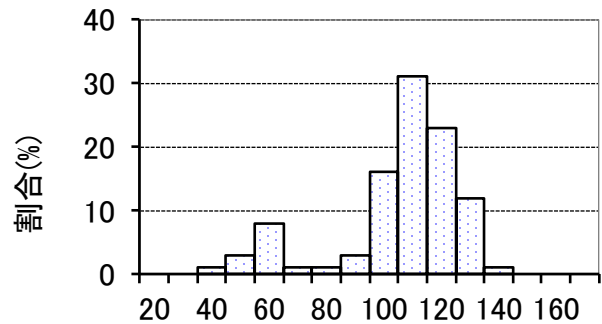
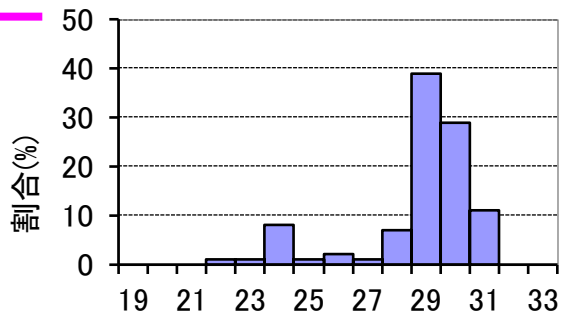
7月16日漁獲
 44° 47'N 164° 36'E 10.1°C
 JAFIC花咲測定



体長 (cm)

体重 (g)

7月12日漁獲
 40° 14'N 157° 37'E 17.5°C
 JAFIC花咲測定

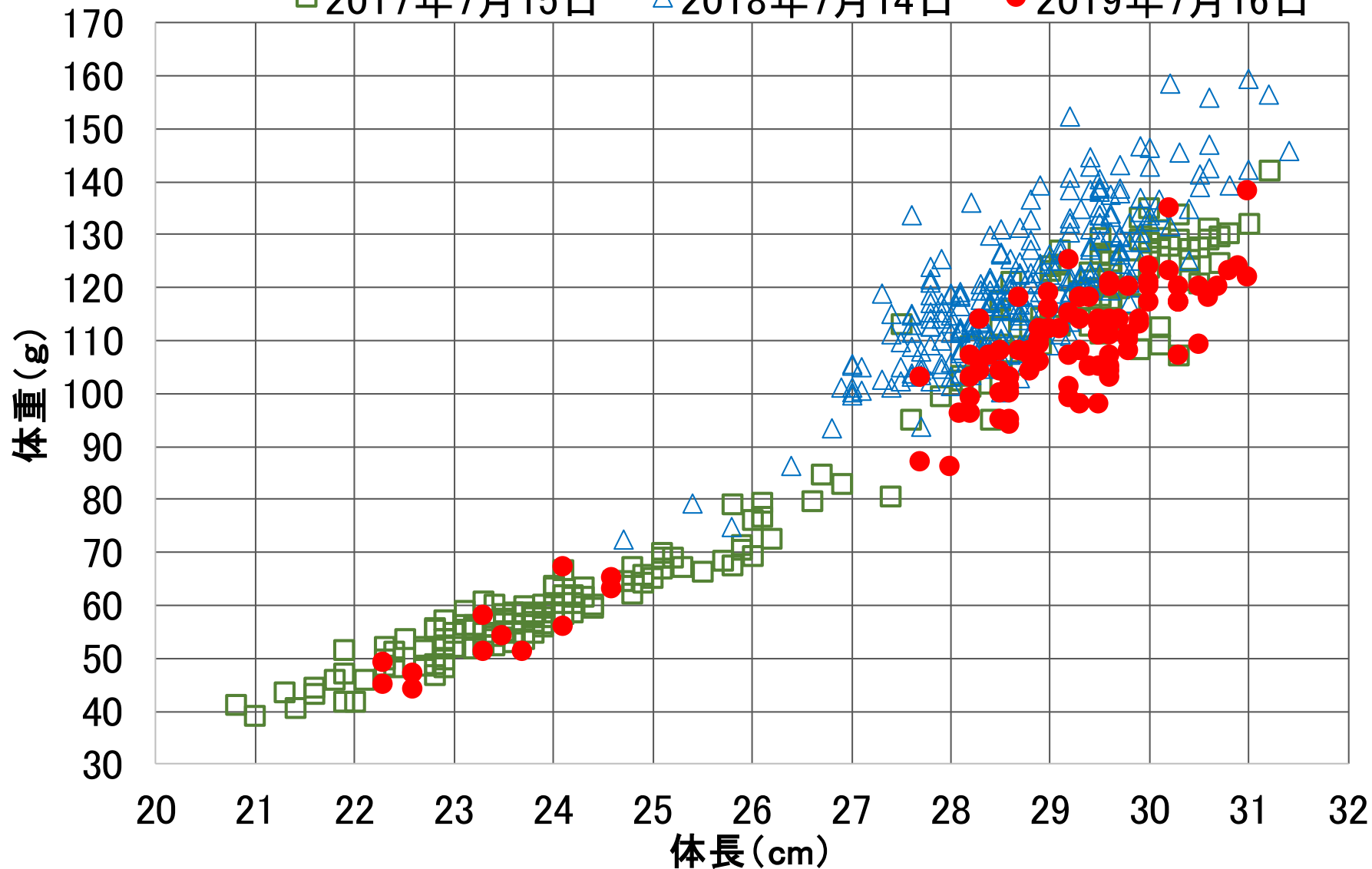


体長 (cm)

体重 (g)

7月中旬の体長と体重の関係(過去2年と比較)

□ 2017年7月15日 △ 2018年7月14日 ● 2019年7月16日



2017年7月15日 : 46° 12' N 162° 01' E 8.9°C

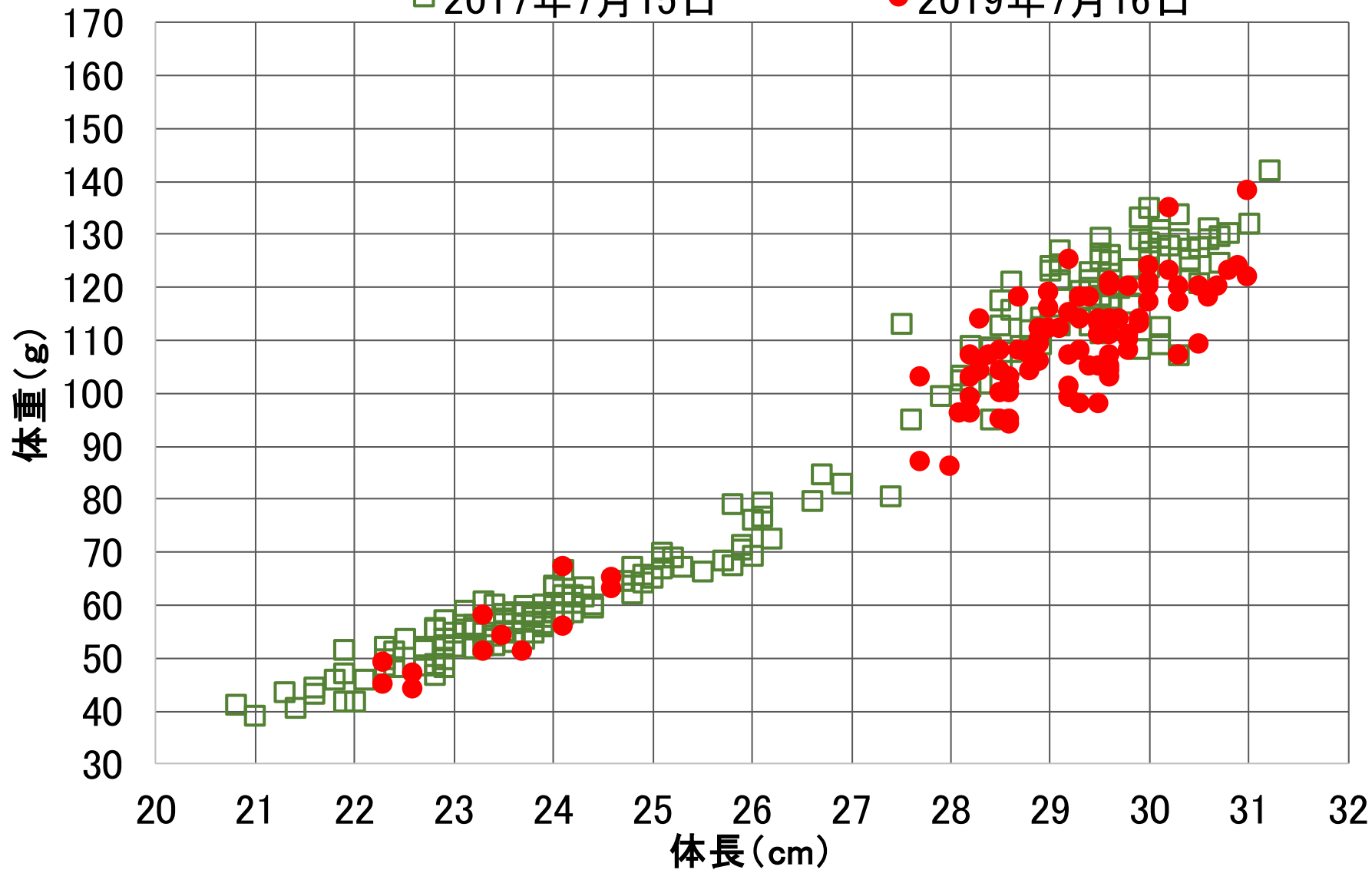
2018年7月14日 : 45° 54' N 163° 01' E 9.1°C

2019年7月16日 : 44° 47' N 164° 36' E 10.1°C

7月中旬の体長と体重の関係(過去2017年と比較)

□ 2017年7月15日

● 2019年7月16日



2017年7月15日: 46° 12' N 162° 01' E 8.9°C

2019年7月16日: 44° 47' N 164° 36' E 10.1°C

2. 流網の漁況経過＋直近の漁況 流網

- ・沿岸の流網は7月10日から水揚が始まった
- ・漁獲量：わずか。
一昨年よりさらに不漁であり、漁獲は少なかった。



日本の周辺を北上したサンマは昨年より少ない

10トン未満棒受網

ロシア主張200海里内で魚群探すが魚群なく入港
8月6日夜：落石南9海里(14°C)で発泡6ケース
(80から130g台：100g台主体)

19トン船 棒受網

ロシア主張200海里内で魚群探すが魚群なく入港
一部船は再度ロシア主張200海里内へ
魚群探索したが漁獲わずか
現在、多くの船が休漁中

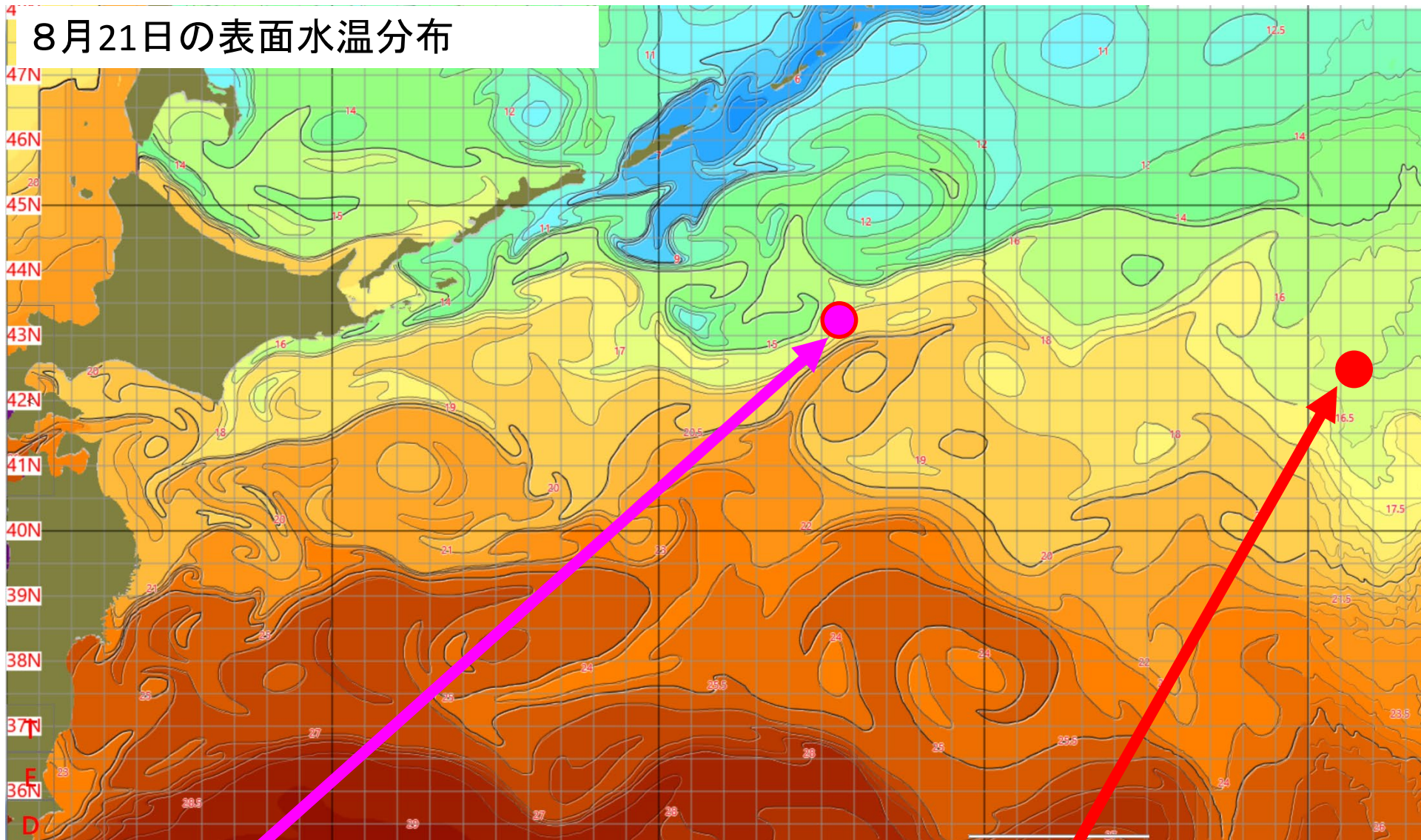
20～100トン未満 棒受網

公海へ魚群探索
8月22日初水揚
現在、公海で操業

100トン以上 棒受網

公海へ魚群探索
8月26日初水揚
現在、公海で操業

8月21日の表面水温分布



145°

150°

155°

160°

8月18日夜・19日夜 落石東670海里 水温16.3

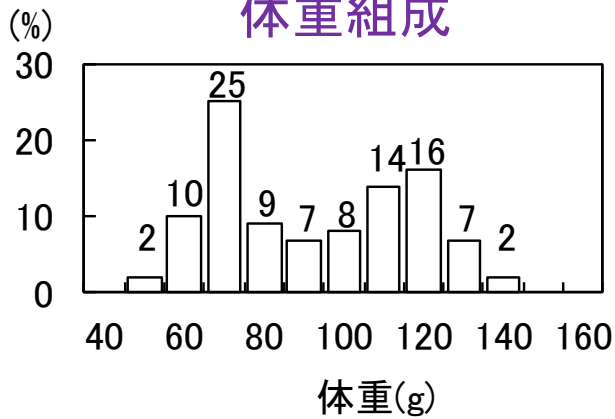
8月22日水揚 花咲5隻 14.4t

厚岸4隻20t

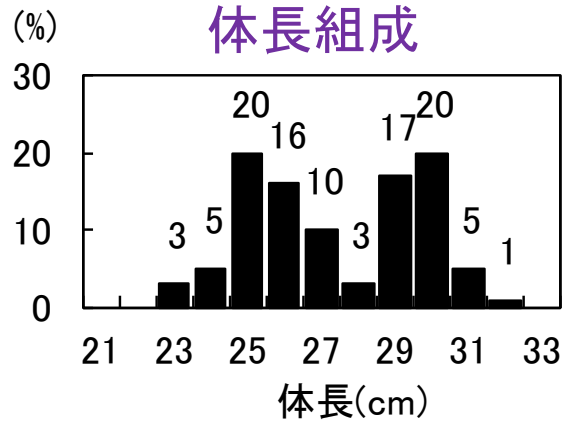
8月21日夜:小型船5隻 6.5t漁獲。落石東320海里 水温17-17.8°C

8月22日と23日の花咲港水揚物

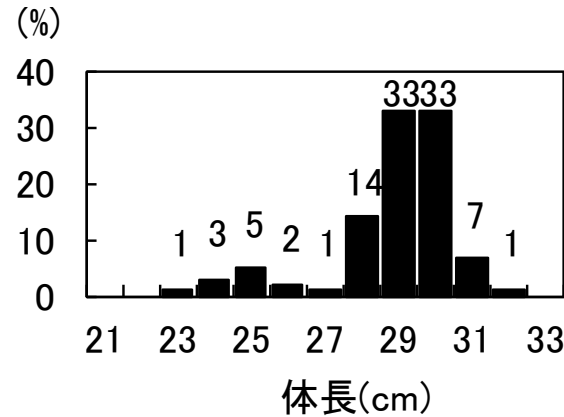
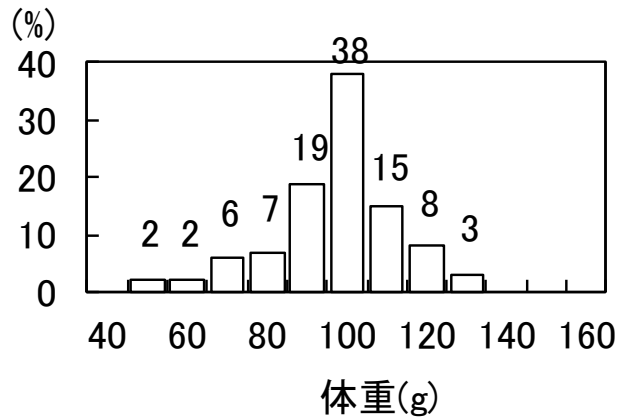
体重組成



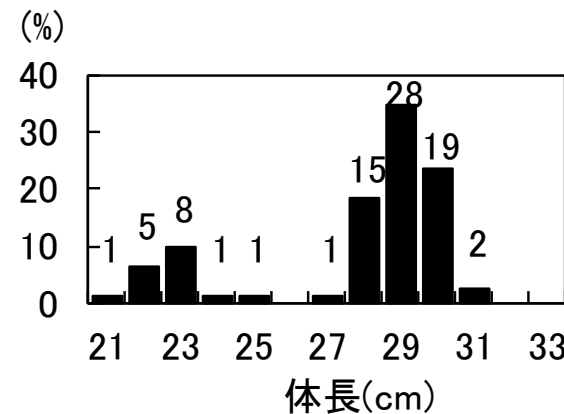
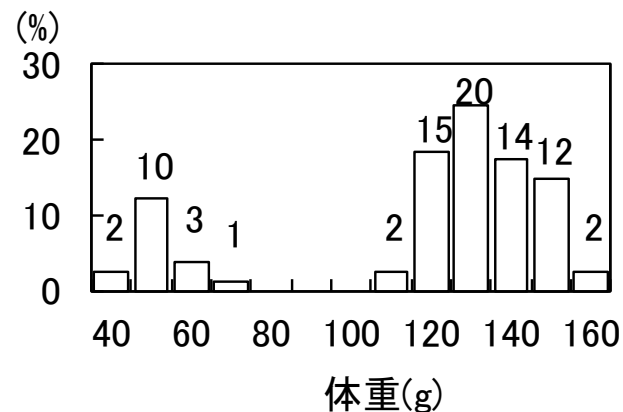
体長組成



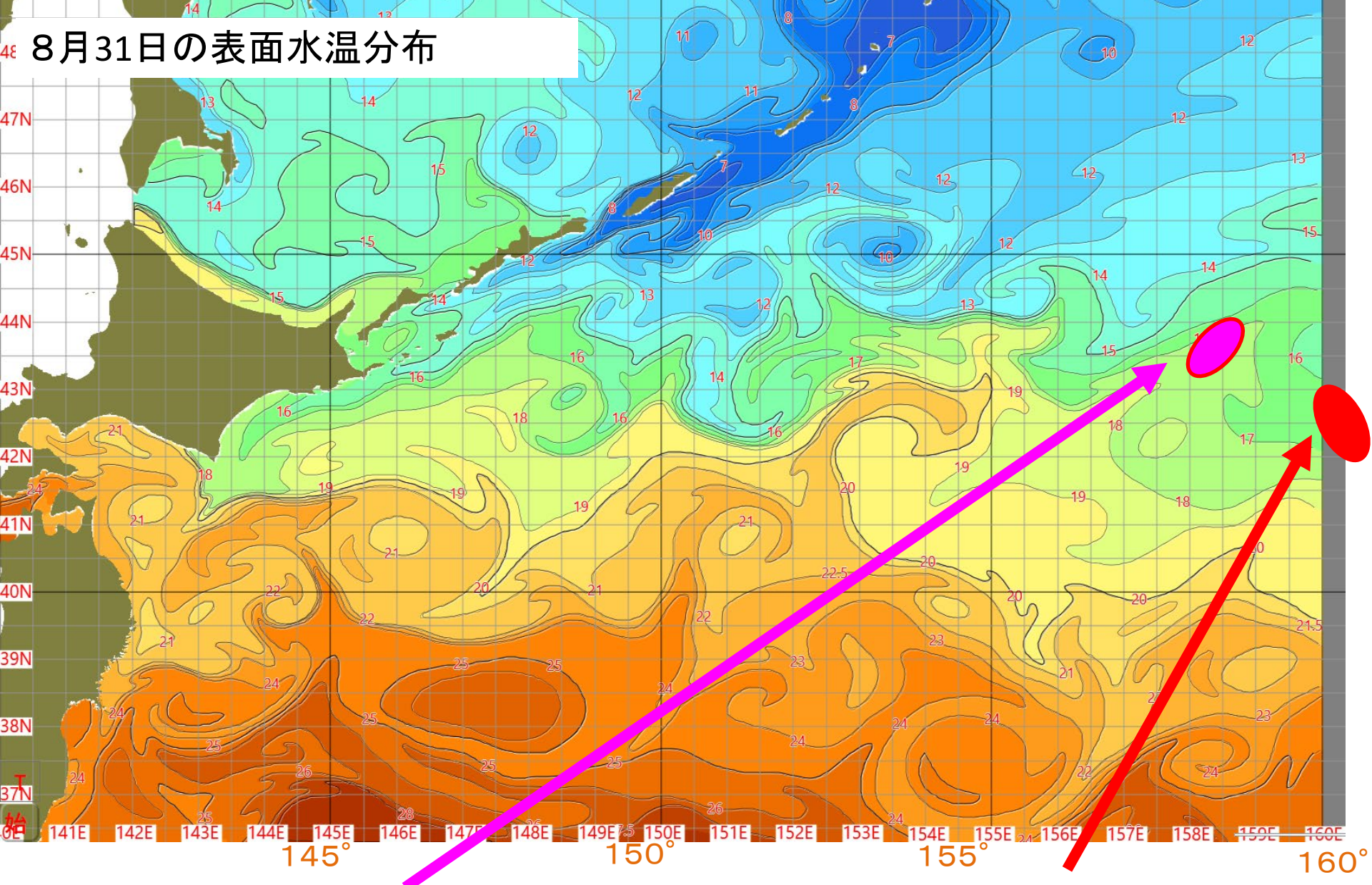
今年
8月18日夜操業
落石東670海里
水温16.3℃
8月22日水揚



今年
8月21日夜操業
落石東320海里
水温17.8℃
8月23日水揚



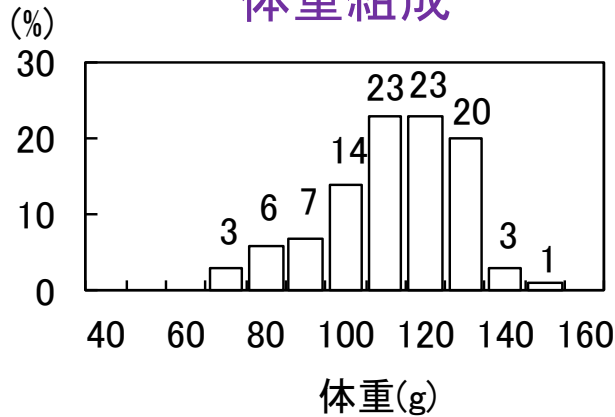
昨年
8月20日夜操業
落石東北東360海里
水温8.1℃
8月23日水揚



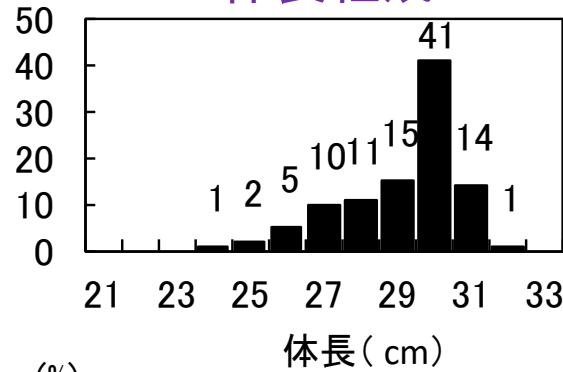
大型船の主漁場は、2ヶ所(落石東500~530海里、落石東670~680海里)。
19トﾝ船は操業に至らず休漁中。

8月29日と30日の花咲港水揚物

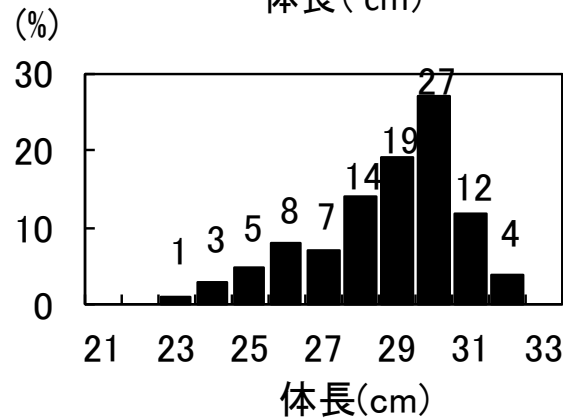
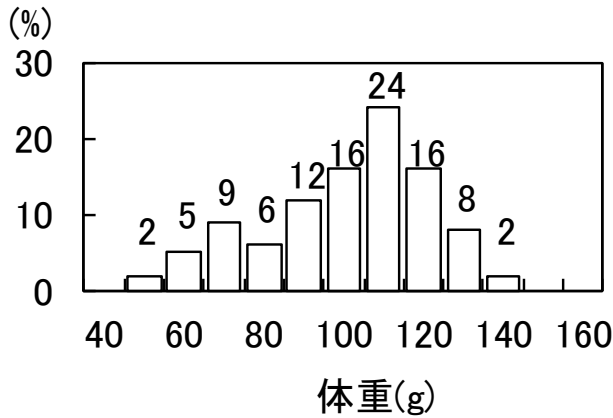
体重組成



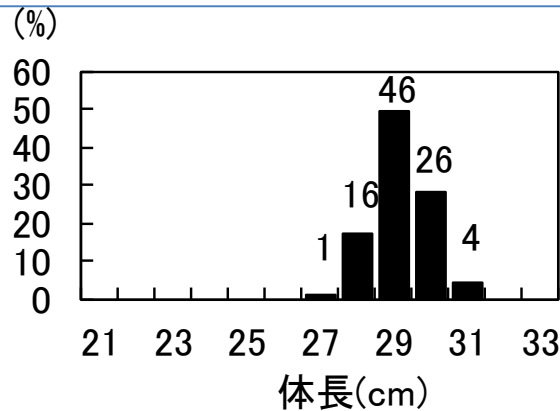
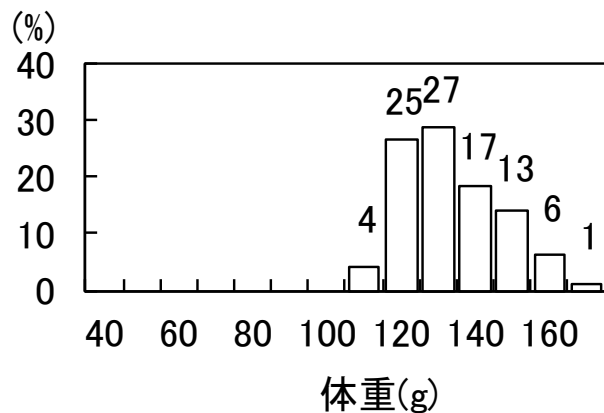
体長組成



今年
8月26日夜操業
落石東670海里
水温16.3°C
8月29日水揚



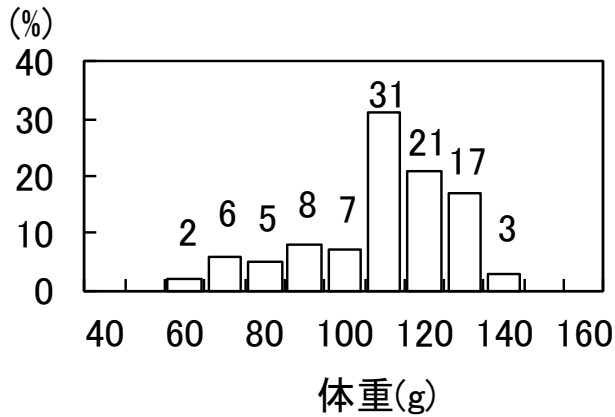
今年
8月27日夜操業
落石東520海里
水温16.6°C
8月30日水揚



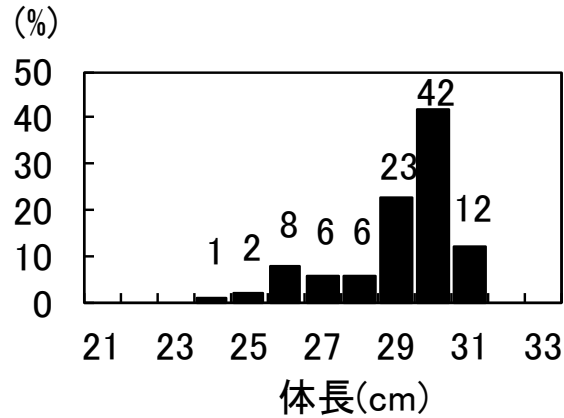
昨年
8月26日夜操業
落石東北東410海里
水温10.0°C
8月29日水揚

本日の花咲港水揚物

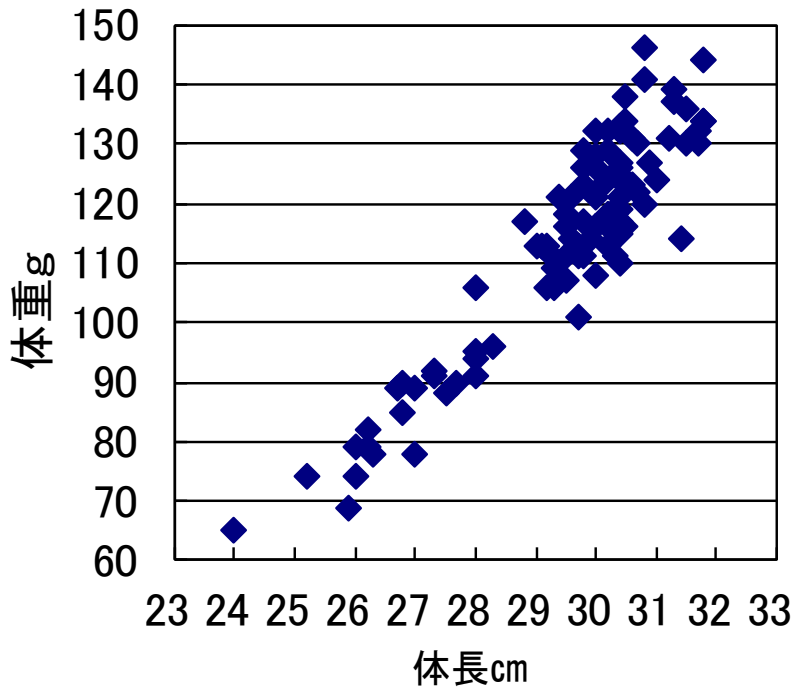
体重組成



体長組成



体長と体重の関係



今年
8月29日夜操業
9月2日水揚
落石東620海里
水温16.0°C
9月2日水揚

今年のサンマの漁況経過まとめ

公海における漁場：

今年は昨年よりもさらに沖

漁場が安定しない

漁獲は少ない

昨年漁場ができた東経158度付近は魚群まばら

流網の漁況：昨年よりもさらに悪い

直近の漁況：

ロシア主張200海里内の魚群は極めて少ない

※太り具合は、昨年よりも良くない。

3. 一昨年・昨年の漁況を振り返って

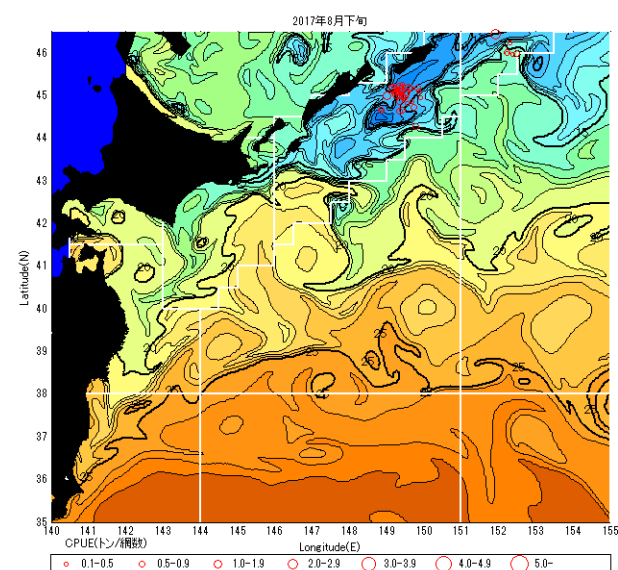
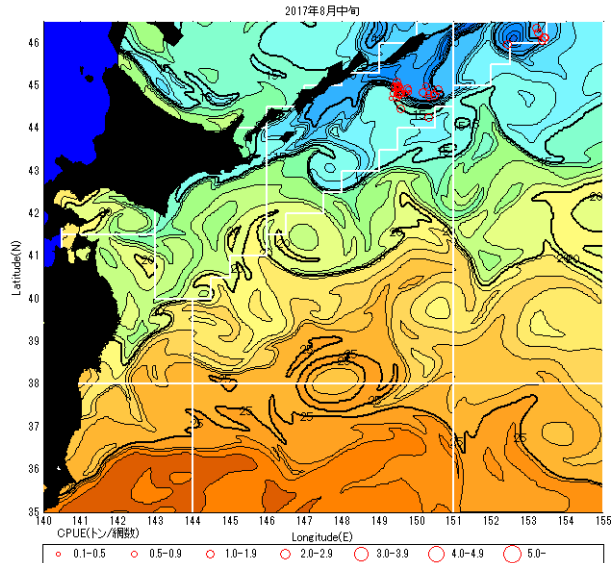
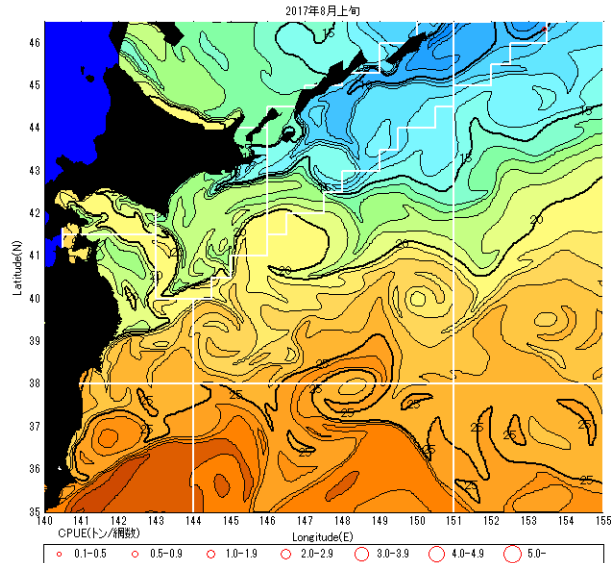
今年の漁期の推移の予想を説明

一昨年と昨年の表面水温と漁場位置(8月上旬~下旬)

2017年 8月上旬

中旬

下旬

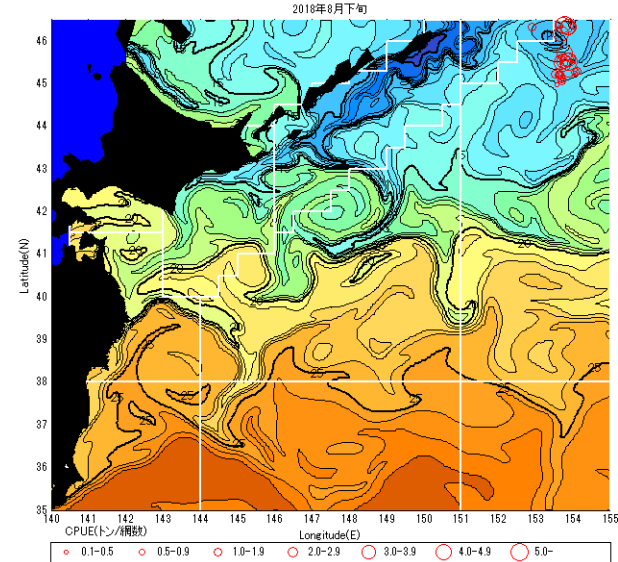
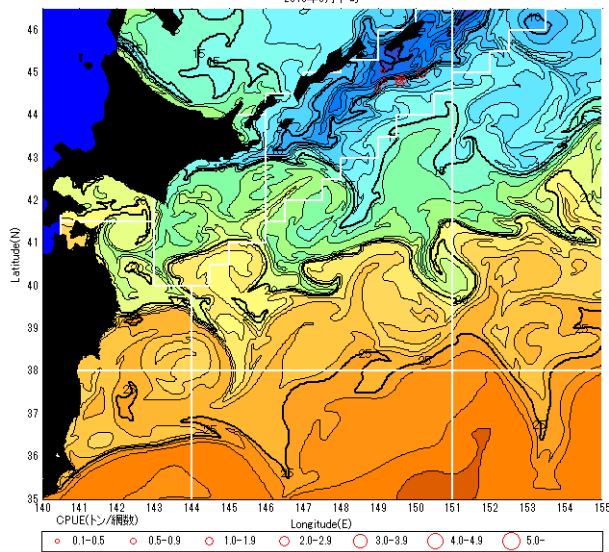
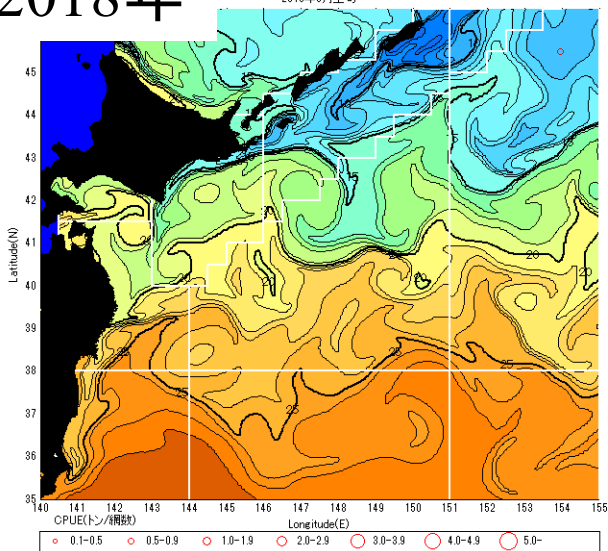


2018年

2018年8月上旬

2018年8月中旬

2018年8月下旬

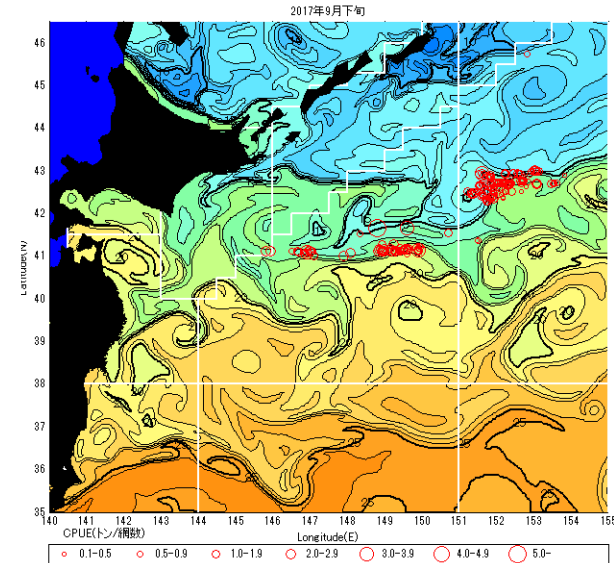
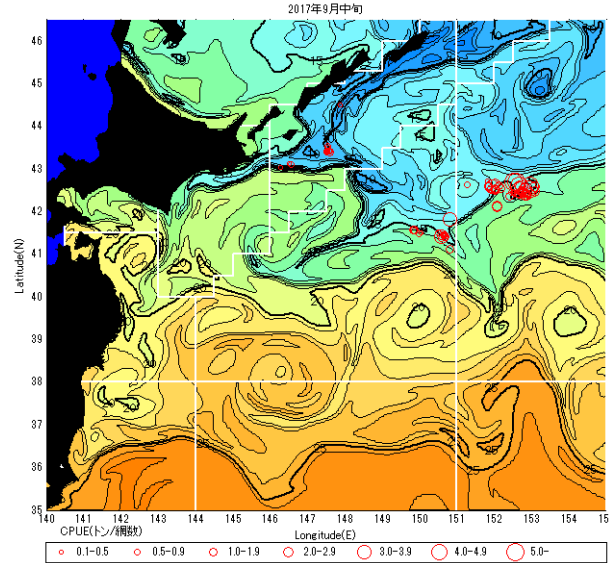
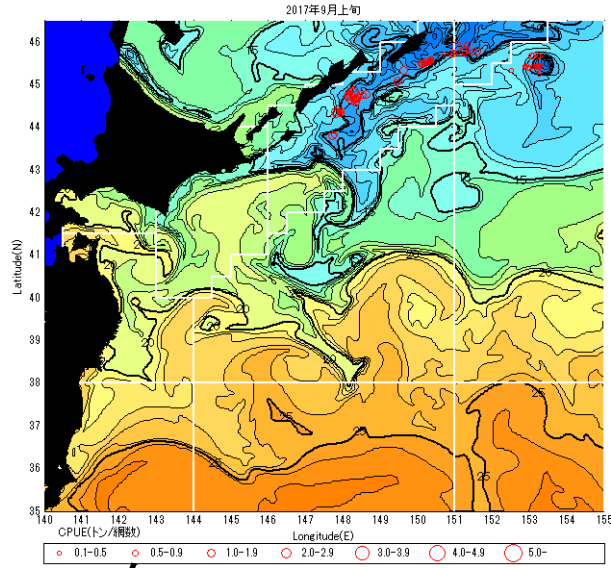


一昨年と昨年の表面水温と漁場位置(9月上旬~下旬)

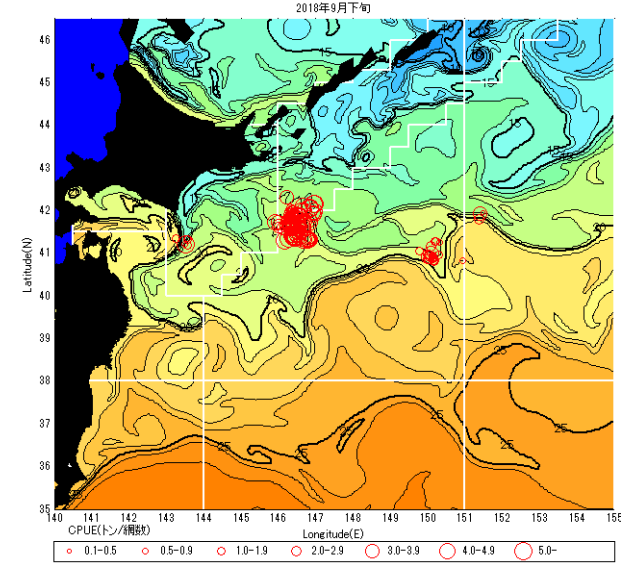
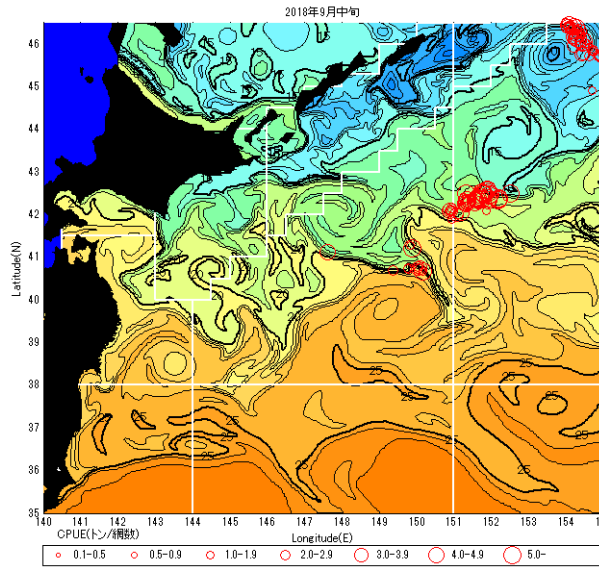
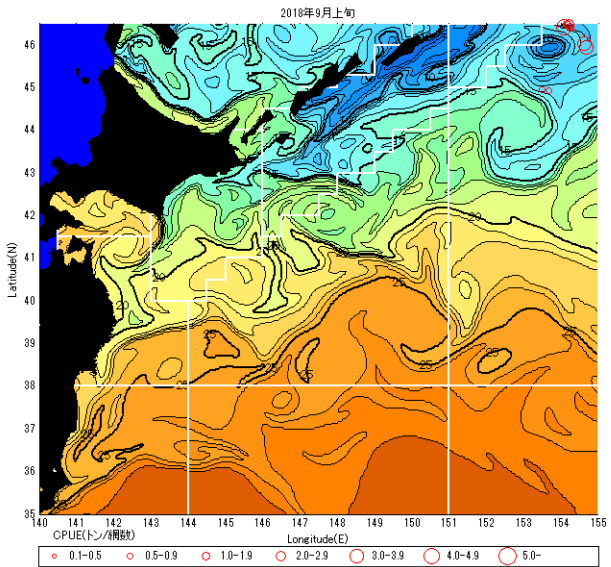
2017年 9月上旬

中旬

下旬



2018年



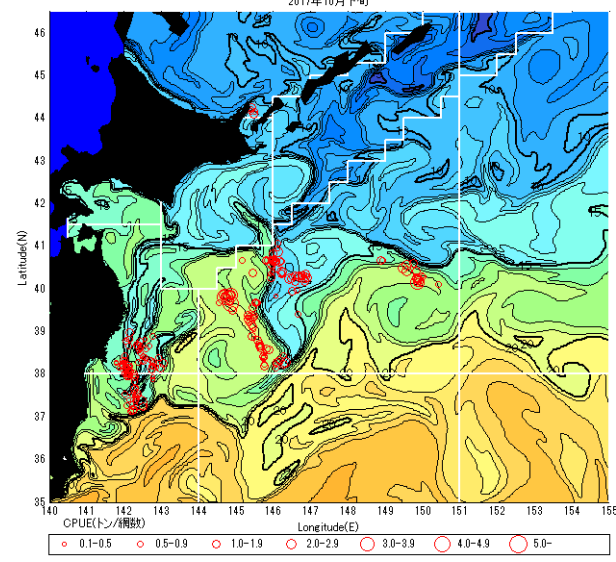
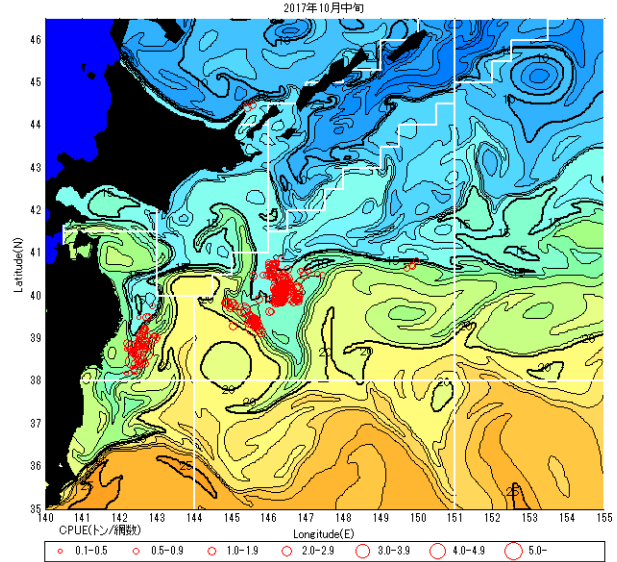
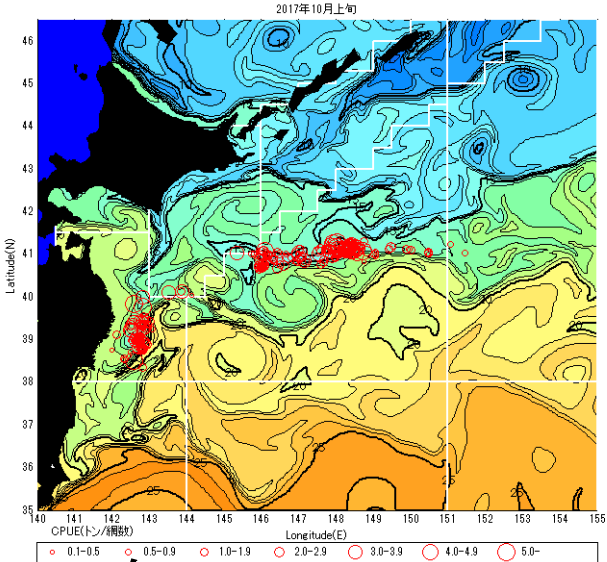
近年の傾向から、魚群は親潮第2分枝に沿って南下すると考えられる

一昨年と昨年の表面水温と漁場位置(10月上旬~下旬)

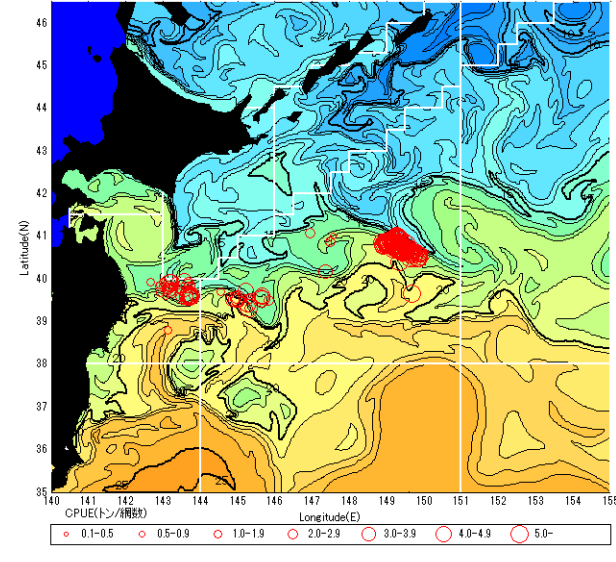
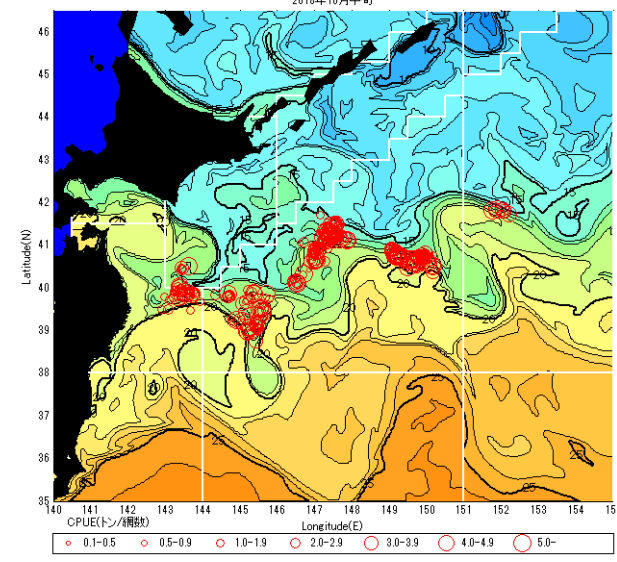
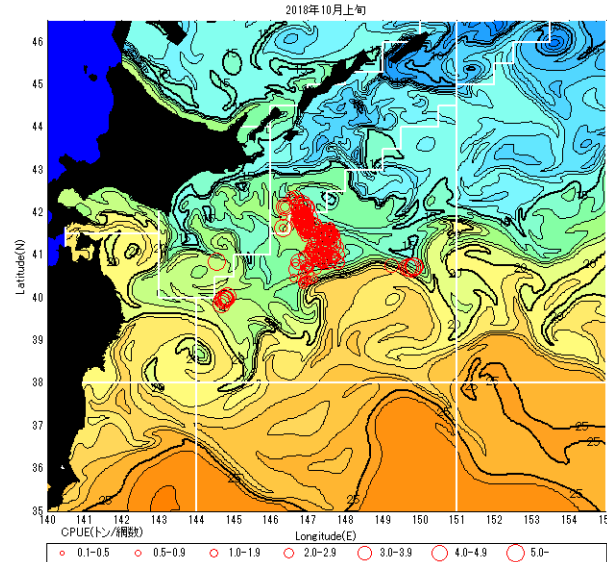
2017年 10月上旬

中旬

下旬



2018年



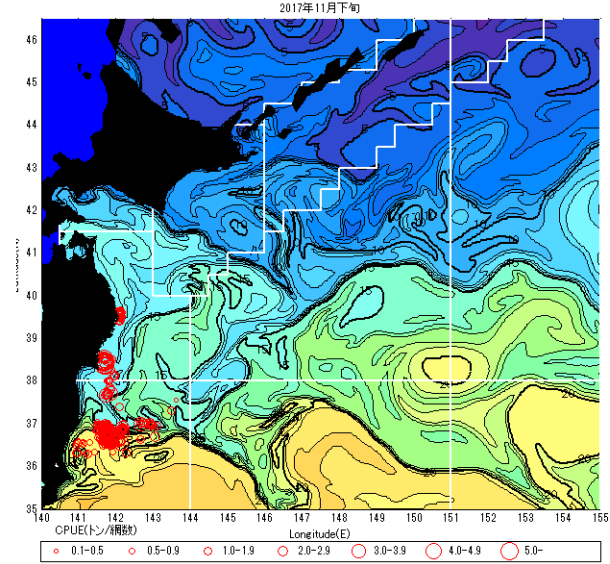
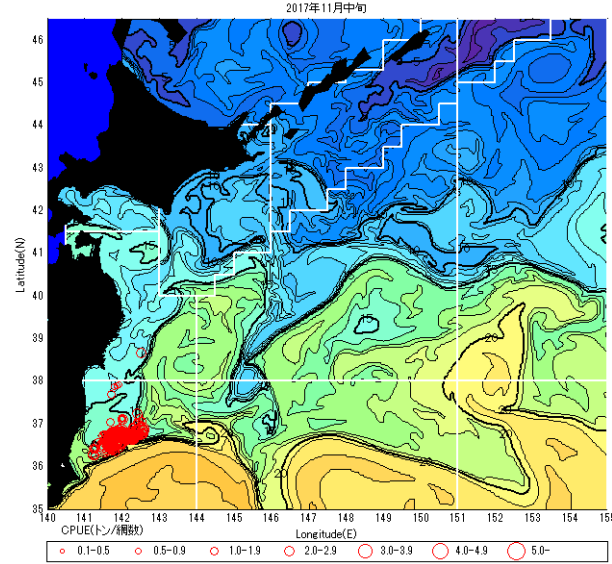
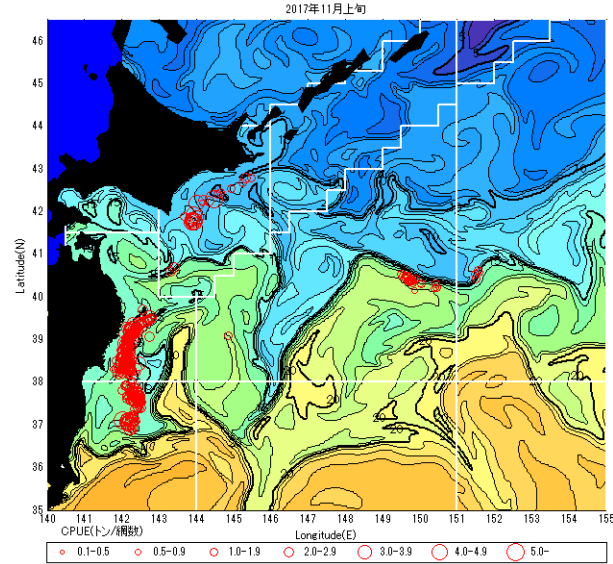
その後の漁場は沖合を中心に形成され、
道東沿岸の親潮第1分枝沿いでは漁場がほとんど形成されない。

一昨年と昨年の表面水温と漁場位置(11月上旬~下旬)

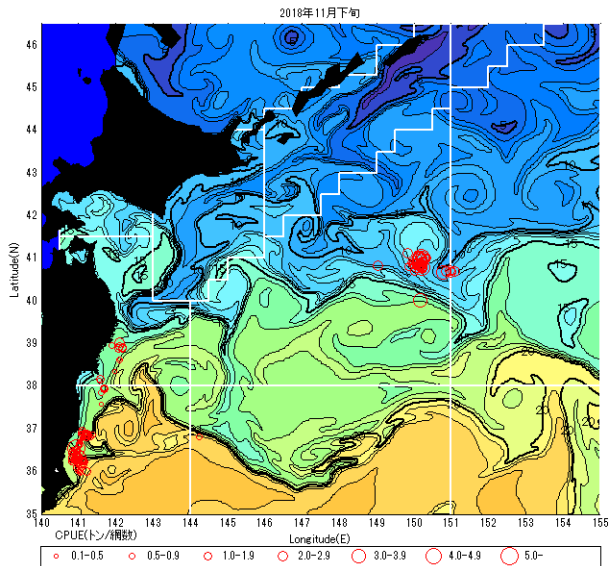
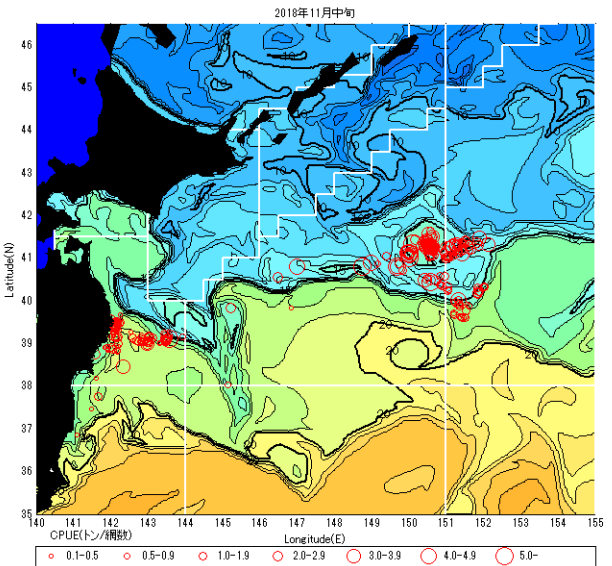
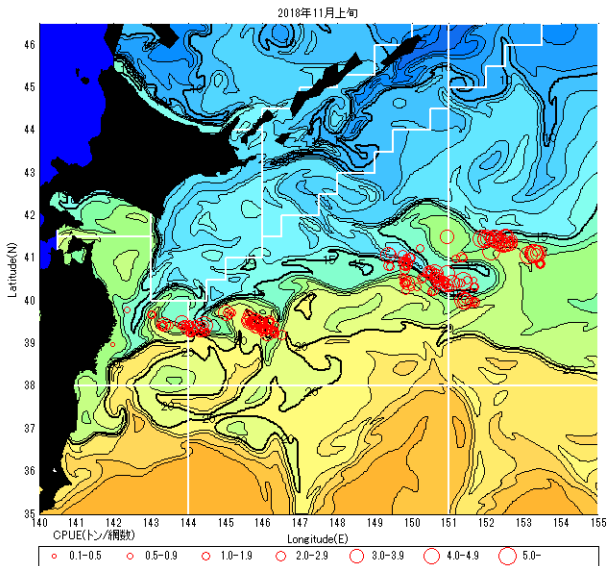
2017年 11月上旬

中旬

下旬



2018年



まとめ

※資源が少ない + 分布が西に偏っている

※1歳魚の割合は、昨年よりも低い。

※太り具合は、昨年よりも良くない。

かなり厳しい年になりそう

予想に反して、
親潮第1分枝に魚群が入ると、
海況は好条件